

2023年度 総会日程

日 時 2023年4月23日 9時30分 ~ 10時

1) 開会の辞

2) 会長挨拶

3) 議長選出

4) 報告事項

- ・会務報告
- ・会計報告
- ・監査報告
- ・その他

5) 議決事項

- | | | |
|-------|--|---------------------|
| 第1号議案 | 2022年度 | 会計決算（案）の承認を求める件について |
| 第2号議案 | 2023年度 | 事業計画（案）の承認を求める件について |
| 第3号議案 | 2023年度 | 予算（案）の承認を求める件について |
| 第4号議案 | 2023年度収支予算案の承認を受ける間は、前年度
予算を踏襲する事の承認を求める件について | |

6) 協議事項

コロキウム 定例会 新年交礼会について

7) その他

8) 閉会の辞

2023年4月26日

北日本口腔インプラント研究会
会員各位

北日本口腔インプラント研究会
専務理事 三嶋 直之

2023年度 N I S総会 開催される

拝 啓

陽春の候、皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は、N I S に多大なご理解並びにご協力を賜りまして篤く御礼申し上げます。

通常開催を望む声がありました。が 講演講師の関係と N I S総会は会員が
日本全国におりますので 参加の事を考慮しまして ZOOM開催とさせて頂き
ました。

2023年度の議決事項は全て 可決決定されましたことを 報告致します。
協議事項におきまして、定例会・コロキウム・新年交礼会等の開催につきまして
執行部より 現状の問題点が提示され 今後皆様と協議して解決していくことと
なりましたことを 報告させていただきます。

日本歯科先端技術研究所の開催が予定されております 6月24日(土)懇親
会 25日(日)総会 の参加につきましては 後日 ご案内をさせていただきます。

又 本年度は 日本口腔インプラント学会 本部学術大会が 札幌市において
開催されますが 参加人数が多数想定されるとのことで 専門医教育講座の会場
を2カ所に分けて実施する可能性もあるとの報告もありました。

いずれにしましても N I S Fax 及び 学会ホームページを 注視して下さるよ
お願い申し上げます。

敬 具

追伸

6月の ジャーナルは 資料不足のため 今年も 中止とさせていただきます

2023年度 第1回 定例会 式次第

ZOOM開催

2023年4月23日（日） 10時 ～ 13時10分

9時57分 司会 挨拶

9時58分 会長 挨拶

「演題Ⅰ」 10時 ～ 12時30分

日常臨床に明日から役立つ外科知識
～上顎洞炎、埋伏智歯などの抜歯について～

「講師」

木村 智憲先生
木村歯科医院 院長

「演題Ⅱ」 12時30分 ～ 13時10分

「インプラント材表面へのプラズマ照射器 ACTILINKのご提案」

「講師」

林 佑憲（イム ウヒョン）
CVO (chief vision officer)

北日本口腔インプラント研究会

「 講 演 」 10時 ～ 12時30分



日常臨床に明日から役立つ外科知識
～上顎洞炎、埋伏智歯などの抜歯について～

「 講 師 」

木村 智憲先生
木村歯科医院 院長

略 歴

- 1999年3月 日本歯科大学 歯学部 卒業
- 1999年4月 帝京大学医学部附属病院臨床研修医
(口腔外科、救命救急センター、麻酔科、放射線科)
～2001年3月に修了
- 2000年4月～ 法務省大臣官房厚生管理官付医員
- 2001年4月 帝京大学医学部口腔外科学研修生 インプラント外来担当医
- 2005年4月 岸病院高度インプラントセンター 外来医長
- 2011年5月 MALO CLINIC TOKYO Sub Director (副院長)
- 2014年8月 木村歯科医院 副院長
- 2020年4月～ 日本歯科大学 附属病院総合診療科 2 臨床講師
- 2022年4月～ 木村歯科医院 院長

所属学会等

- ・ 日本口腔インプラント学会 (専門医)
- ・ 日本顎顔面インプラント学会
- ・ 日本口腔外科学会
- ・ 日本顎咬合学会 (認定医)
- ・ 日本歯周病学会
- ・ All～Advanced Implant Institute of Japan (インストラクター)
- ・ OJ～Osseointegration study club of Japan (理事・フェロー)
- ・ ORE～Ocean Pacific Restorative of Esthetic Dentistry (実行委員)
- ・ 国際口腔インプラント学会ISOI (認定医)
- ・ NPO法人 埼玉インプラント研究会

日常臨床の中で、外科的知識と技術は必要不可欠な分野の一つです。しかしながら苦手意識を持っている先生が多い分野とも言えます。そこで本日は外科分野の中でも先生方が普段から行っている抜歯と、私から是非知って頂きたい上顎洞に関してお話をしたいと思います。

まず上顎洞に関してです。皆さんの日常臨床で上顎洞。というと、自分はサイナスリフトやソケットリフトはやらないから関係ないな。と思われる先生もいらっしゃるかと思いますが、今回はそういったインプラント関連のお話は割愛させて頂いています。そしてサイナスリフトやソケットリフトはやらなくても、上顎第一大臼歯の抜歯や根管治療となると、やらない先生はいらっしゃると思います。そんな先生方にも是非聞いて頂きたいのが今回の1つ目のテーマです。上顎洞、そして上顎洞炎についてしっかりと理解して欲しいと思っています。

よく後輩から、「上顎洞に粘膜肥厚があるけど、サイナスリフトができますか？」という質問を受けますが、大抵の場合は上顎洞炎の診断に必要な最重要ランドマークが撮影されていません。そして、そのランドマークを知っていても、ちゃんと活用されていない現状が多々見受けられます。

また上顎洞粘膜に肥厚があったり、場合によっては後鼻漏がある時に、上顎洞炎に関してしっかり理解できていれば、いつ耳鼻科に送るべきかどうか、そのタイミングも分かります。さらには、耳鼻科から歯性上顎洞炎のため対処依頼が来ることもあるかと思いますが、そんな時にも悩まなくて済むようになれるかと思いますが、耳鼻科との医科歯科連携においてこちらがしっかりと上顎洞炎を理解していないと、患者がたらい回しとなってしまいます。そんな事が起こらないように、本項目では、上顎骨の解剖、上顎洞の生理、上顎洞炎の成り立ち、診査診断、治療法までをお話ししたいと思います。

2つ目は抜歯についてです。抜歯の難点は、一度始めたら、途中でやめる、抜かないで終わる。といった選択をしづらいところにあります。そして一度ハマるとどんどん視野が狭くなって、ヘーベルをコネクリ回して、骨を少しずつ削って、よく分からないけどなんとか抜ける。誰もがそんな経験をした事があるかと思います。しかしながら、残根抜歯でも、完全埋伏智歯でも、知識を身に付けて、理論的に考えればハマる事は減り、苦手意識も無くなると思っています。本講演では、まず何故残根抜歯でハマるのかを解説し、その対処法を1つ1つ提示いたします。そして多くの動画にて実際の抜歯を見て頂き、イメージを膨らまして頂ければと思います。親知らずの埋伏抜歯に関しては、今回は下顎のみに焦点を絞って解剖、麻酔、切開剥離、歯冠の明示、歯根の分割抜歯、搔破、縫合、合併症と、1から順番にお話をします。また埋伏抜歯の難易度分類を解説し、先生方の経験度合いに合わせた症例選択に役立てて欲しいと思います。そして最後にはやはり、多くの動画にて実際の抜歯を見て頂きます。

これで、明日からの臨床で少しでも抜歯に対する苦手意識が減って頂ければと思っております。

「 講 演 II 」 12時30分 ～ 13時10分

「 演 題 」



「インプラント材表面へのプラズマ照射器
ACTILINKのご提案」

「 講 師 」

林 佑憲 (イム ウヒョン)
CVO (chief vision officer)

超高齢社会が進む中、健康寿命の延伸は現代日本の社会課題であると考えております。政府からも骨太の改革が打ち出され、口腔医療においてはその中核を担うことが期待され、国民皆歯科検診の実施が検討されるなど、歯科医療への期待は近年高まっていると感じております。中でもインプラント治療は、咀嚼機能の維持に口腔リハビリテーションの側面が加わり、現代社会の歯科治療オプションとして更に期待されているところではないでしょうか。

さて、弊社が取り扱います韓国Plasmapp社 ACTILINK Rebornは、昨年春に発売され、インプラント材表面にプラズマ照射を行うことで、短時間でインプラント材表面の親水性を回復し、さらに塩基を電氣的に誘引することが確認された機器であり、インプラント材をより安全に安心に取り扱うことができます。これまで、紫外線やアルゴンプラズマによって行われてきた光機能化分野の最新機種であり、真空プラズマによる出力エネルギーは電氣的に付着するとされる炭化水素の電氣的エネルギーを大きく上回ることが確認されており、インプラント材に付着する炭化水素を含む不純物を効果的に除去することが認められた初めての製品です。

本製品を使用したインプラント材表面は、ドイツのClean Implant Foundationにて検証され、炭化水素を含む不純物が少なく、きれいな表面であることが確認されました。同機構からはその認定証が発行されており、本年開催された国際デンタルショーIDSにおきましても、多くの来場者を頂くことができました。

今回は、限られた時間になりますが、本製品の概要と優位性、最新の研究内容などを織り交ぜながら、安心安全なインプラント治療の一助としてACTILINK Rebornの特長をご紹介させていただきたいと考えております。